

情報を見極める・評価する

フェイクニュースや不正確な情報に
踊らされないために

1. 偽ニュースを見極めるには

レポートや論文を執筆する際に適切な参考文献を選択するためには、

そして普段の生活で不確かな情報やフェイクニュースに踊らされないためには、右図に沿って検討をすることや

・ **CRAAPテスト**

・ **RADAR**

などの判断基準に沿って情報を適切に評価する必要があります。

- ・ 文献を引用する前
- ・ SNSで情報を拡散（RT・シェア等）する前
- ・ テレビや新聞、webサイトで調べ物をする際

などにこれらのチェックリストを利用してみてください。

偽ニュースを見極めるには



情報源を検討しよう

その話をクリックして広める前に、サイトの役割や連絡先を調べよう。



本文を読もう

クリックしてもらうために見出しは奇々怪々かも。話そのものは何？



著者をチェックしよう

著者についてさくっと検索する。信用できるのか？実在の人物か？



情報源は裏付けか？

リンク先をクリックしよう。実際にその話を裏付けている情報かどうか判断する。



日付をチェックしよう

古い話を再掲しているのは最新の出来事と関連しているわけじゃない。



これってジョーク？

奇妙すぎるなら、それ風刺かも。サイトと著者を確かめよう。



自分のバイアスをチェック

自分自身が信じていることが判断に影響していないか考え直そう。



専門家に尋ねよう

司書に訊いてみよう。事実をチェックできるサイトをみよう。

翻訳者: 井上靖代

2. CRAAPテスト

C

Currency: 最新の情報か

R

Relevance: 適切な情報か

A

Authority: 発信者は誰か

A

Accuracy: 信頼性は高いか

P

Purpose: 情報の目的は何か

Currency: 最新の情報か

- その情報はいつ投稿・公開されたものか
- その情報は改訂・更新されているか
- 自分の調べているテーマには最新の情報が必要か、それとも古い情報でもよいのか
- (Webサイト等の場合) リンクは正しく機能しているか

Relevance: 適切な情報か

- その情報は自分の調べているテーマに関連しているか、あるいは自分の疑問に答えになっているか
- どんな読者を想定した情報か
- 情報の内容のレベルは適切か
(基本的すぎたり、発展的すぎたりしないか)
- その情報を利用しようとする前に、その他のさまざまな情報を調べてみたか
- 自分のレポート・論文にその情報を引用したいと思えるか

Authority: 発信者は誰か

- 著者／出版者／情報源／スポンサーは誰か
- 著者の資格は何か、所属する組織はどこか
- 著者はそのテーマについて執筆するのにふさわしい人材か
- 出版者の情報やeメールアドレスなど、連絡をとるための情報が記載されているか
- URL（ドメイン）から著者や情報源について何か分かるか（.acや.eduなら教育・研究機関、.govなら政府機関など）

Accuracy: 信頼性は高いか

- その情報の出元はどこか
- その情報は根拠（エビデンス）をもって書かれているか
- その情報は批評されたり、引用されたりしているか
- 別の情報源や自身の知識から、その情報が正しいことを確認できるか
- 言い回しや論調が感情的になっていないか
- 誤字脱字や誤植などがないか

Purpose: 情報の目的は何か

- その情報の目的は何か（広報？教育？営業？娯楽？説得？）
- 著者や出版社は情報の意図や目的を明白にしているか
- その情報は事実情報か、著者の意見や見解か、それともプロパガンダか
- その情報は客観的で公平な観点から書かれているか
- 政治・宗教・文化・イデオロギーあるいは組織的もしくは個人的なバイアスがかかった情報ではないか

8. RADAR

□ Relevance

各情報源が自分のテーマにどのように関連しているのか、自分の研究にどのような情報を付加するのかを明確にする

□ Authority

論文・記事の著者の身分など信頼できる情報かの調査を厳しく行う
(ただし著者の不明な情報でも、より有用な情報へのリンクや情報を得るための手掛かりとして利用できる可能性はある)

□ Date

情報の公開日や出版日をチェックすることを習慣にする

□ Appearance

専門的なサイトや学術論文の特徴（フォントやレイアウト、色使い）を認識し、情報源の質を（ある程度直感的に）判断できるようになる

□ Reason for Writing

情報源にかかっているバイアスを予想・判断し、引用・参考の際には、それらのバイアスを適切に加味し、処理できるようになる

9. 參考文獻

- Mandalios, Jane. “RADAR: An approach for helping students evaluate Internet sources”. Journal of Information Science. 2013, 39(4), p. 470-478.
- Sullivan, Matthew C. “Libraries and Fake News: What’s the Problem? What’s the Plan?”. Communications in Information Literacy. 2019, 13(1), p. 91-113,91A
- “How To Spot Fake News”. IFLA. 2020-3-16,
<https://www.ifla.org/publications/node/11174>, (參照: 2020-4-27)
- “Is this source or information good?”. Meriam Library.
<https://library.csuchico.edu/help/source-or-information-good>, (參照: 2020-4-27)

